

新規・継続等	新規	分野	河川の護岸築堤等			事業番号	77	事業名	県単河川改修			
市町村名	須崎市		ふりがな 箇所名	やぎさわがわ あいのしま ほんごう 八木沢川 相之島～本郷			事業年度 (完了年度は見込み)	H23年度～		H27年度		
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	<相之島～小河原工区>河床掘削 L=2,640m,V=10,500m3 <本郷工区>護岸工 L=180m					H22年度末事業進捗率	0%				
	H23年度以降残余実施内容	同上					本工事費等ベース	0%				
	H23年度実施内容	<相之島～小河原工区>河床掘削 L=640m, V=2,500m3 <本郷工区>測量、詳細設計、用地測量、用地補償					用地補償費ベース	0%				
	年度	全体事業費		H21年度まで		H22年度	H23年度	H23年度以降残余				
事業費計(千円)	150,000		0		0	20,000	150,000					
財源内訳	国庫支出金											
	その他											
	県債	135,000		0		0	18,000	135,000				
	一般財源	15,000		0		0	2,000	15,000				
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価			部 ランク	政策評価課 評価	部 ランク	政策評価課 評価	
	必要性 (25)	想定氾濫区域内の農地面積	人家あり		農地・畑地		原野・山	A	15	A	15	
		想定氾濫区域内の公共施設	2施設以上		1施設		施設なし		8		8	
		小計							23		23	
	重要性 (20)	過去の浸水被害履歴	過去20年に床上規模		過去20年に床下規模		その他	A	6	A	6	
		重要水防区域	指定あり		指定なし				7		7	
		設計上の環境配慮項目	2～3項目配慮		1項目配慮		配慮なし		3		3	
		小計									16	
	効率性 (15)	費用対効果(B/C)	3 B/C		1.5 B/C<3		1 B/C<1.5	A	5	A	5	
		早期発現度	B/C<1						3		3	
		コスト縮減及び代替案検討	5年未満		5年～10年未満		10年以上		5		5	
		小計	比較検討あり		比較検討なし						13	
	緊急性 (25)	近年の施設災害履歴	近年5年にあり		近年5年になし			B	7	B	7	
		近年の水防回数	近年5年に3回以上		近年5年に1～2回		近年5年になし		4		4	
		現況流下能力	0～20%未満		20～50%未満		50%以上		0		0	
		河道の状況	築堤		護岸老朽化等		その他		5		5	
		小計									16	
	計画 (15)	地域からの要望	地域住民活動強い		市町村要望あり		特に要望ない	B	5	B	5	
		事業情報の共有	関係者以外にも周知		関係者中心に周知		特に周知していない		3		3	
		住民参加の状況	住民が直接参加		市町村意見を反映		住民意見反映していない		3		3	
		小計									11	
	費用対効果(B/C)	5.2		評価の合計			A	79		79		
	事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	一級河川八木沢川は、千曲川合流点の八木沢川樋門から約5,500mの区間は、局部改良事業(～H17)により、1/10の暫定改修がなされているが、八木沢樋門から約2,640mの区間について、河床勾配が緩いため、土砂が堆積しやすく、確保されている流下能力が十分発揮できない状況となっている。また、局部改良済区間の上流180m間については、流下能力が小さく、昭和56年8月の台風15号災害の際には、近隣で床上浸水13戸、床下浸水68戸の甚大な被害が発生したこともあり、常に地域からの要望も高く、一刻も早い河川改修が望まれる。									
		地域からの要望経緯	毎年、須坂市の事業調整会議において要望が挙げられている他に、地元区からも要望が挙げられている。特に、本郷町区については、現地調査を合同で実施した。(H21.10.8豪雨時など)									
		周知事業説明等の経緯	千曲川合流点の八木沢川樋門から約5,500mの区間は、局部改良事業(～H17)により、1/10の暫定改修がなされた。また、平成21年3月には、国が整備した八木沢川樋門が完成(1/10確率)している。局部改良区間から上流は県単事業や災害復旧事業により、必要最低限の工事が行われてきた。H23年4月以降、地元事業説明を行い事業着手していく。									
環境・景観への配慮項目		現況河床形状を考慮した河道掘削を行うなど自然環境に配慮するとともに、建設発生材のリサイクルなどにより、コスト縮減を図る。										
他事業・プロジェクトとの関連		特になし。										
特記事項	水位情報河川として、小河原地籍に設置されている水位観測局の水位により避難判断水位を設定している。本郷工区右岸には、災害時要援護者施設である須崎市老人福祉センター永楽荘がある。											
地域の合意形成	全員賛成		概ね賛成		過半数賛成		動向不明		その他			
部意見	流域内に多くの公共施設や住宅地等があり、重要性が高いため、平成23年度から事業着手したい。				政策評価課意見		必要性が高く、重要性も認められる。					